

とまこちゃん通信 VOL.15

2017年7月



☆ホームページみてね! ☆ : tomato-dc.com

とまと歯科クリニック

(又は 「[とまと歯科くりにっく](#)」 で検索)

☆今回のテーマ☆ 『歯並びキレイ♪な子育て法!』

7月30日(日)、東京で行われた口腔育成学会の研修会に参加してきました。今回のテーマは「スクスク健康に育つために必要な事。生命活動の3S、**「息育」「食育」「足育」**」でした。

とまと歯科にはたくさんのお子さん方が来られます。その中で、保護者の方から**歯並び**や**噛み合わせ**について相談を受ける事が年々多くなっているように感じます。

お母さん、お父さんの心配は「うちの子、これで大丈夫なんですか?」という事です。自分の子どもは、間違いなくかわいい。でも、やっぱり歯並びは、見た目を治す、という事よりも、**健康に対して悪影響はないのか、と不安を感じる方が多い**のです。

歯並びは、口唇、舌、頬という、歯を取り囲むまわりの筋肉のバランスで作られています。なのでその筋肉たちが正しく働いていないことが**不正咬合**をつくります。

すなわち、**①呼吸の仕方が②食べ方、飲み込み方がうまくいっていない、もしくは③姿勢が悪い**かの、どこかに問題があると考えられるのです。

そこで、健全な成長のための提案です。

◆3歳までに、**呼吸・食・姿勢**を育てましょう。

◆5歳までに、**正しい呼吸・正しい嚥下・正しい姿勢**を習慣づけましょう。



(でも、何歳でも遅くはありません。)

みんなで健康で幸せな人生を目指しましょうね (*^_^*)



院長 廣瀬 佐都子



今月の ぷちとまと

シールはり。
ぺったんこ♪

じゅんや
惇也くん (1歳11か月)

かんな
菜奈ちゃん (2歳)

とれないように、
ぎゅっ、ぎゅっ。



★おしえて！とまこちゃん★

質問：なぜむし歯になると銀歯などの詰め物、かぶせ物に変わるのですか？



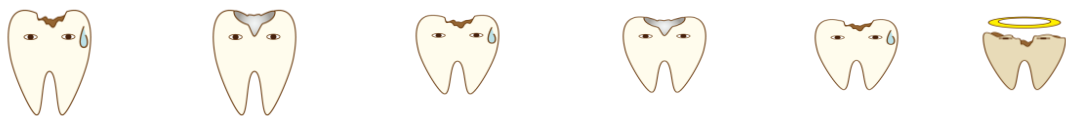
答え：むし歯が大きくなってしまった歯を治療するためには、虫歯の部分を削らなくては いけません。しかし、残念な事に、**一度削られてしまった歯は元の形の再生してくれない**の です。（もちろん、虫歯の部分をそのままにしておいても、元には戻りませんよ！）

歯を削ると形が変わります。したがって、そのままにしておく歯の重要な役割である「咀 嚼（そしゃく）」が難しくなってしまいます。何とかして、その**機能を回復**させないと いけません。そこで登場するのが、**銀歯などの詰め物、かぶせ物**です。削られた部分を、人工物 を使って修復してあげるのです。

むし歯が小さかったり、場所によっては白い樹脂製（プラスチック）の材料で直接修復す る事もありますが、強度に限界があるので、虫歯が大きくなればなるほど、丈夫な材料を使 います。一番丈夫な材料は金属です。いわゆる**銀歯**（正確には、**金銀パラジウム合金**とい います。）は**保険適応**のため、こちらを選ぶ方は多いです。**金歯**（ゴールド）は**自費**になりま す。見た目（審美）や身体への影響（金属アレルギーなど）が気になる方には、**白い詰め物** や**かぶせ物**もあります。こちらも**保険適応**の物と、**自費**の物があります。詳しくはスタッフ にお尋ねください。



最後に…修復の方法はいくつかあります。しかしそれは**決して「治った」わけではない**事 を忘れないで下さい。**あくまで修復、機能回復**です。**風邪が治るといような完治ではありません**。一度削った歯は、**どんなに上手に治療しても必ずむし歯が再発**します。（個人差は あります。）**何度も繰り返すと、最悪、歯を抜かなければいけない**かもしれません。



そうなる前に、またすでに治療済みの歯がある方は、少しでも長く持つように、 ぜひ、**メンテナンス**へお越し下さい。



いただきます☆
おっと、それはたべ られないですよ ~!!



週1回、川村医師のお 子さん、千織（ちおり） ちゃん（真ん中）も、 一緒に過ごしていま す。3人でねんね♪



とまと歯科クリニックの理念： 地域の皆様のお口の健康を守り育てることに 全力をつくし、より快適で幸せな人生のお手伝いをします。